

富山県農業・農村振興計画のポイント

○計画の位置づけ

この計画は、富山県総合計画「元気とやま創造計画」の農業・農村分野に関する計画として位置づけられ、県農政推進の基本指針

○基本目標

将来にわたり発展する「競争力の高い農業」と「豊かで美しい農村」の実現

- ・農業の成長産業化を促進し、農業所得の向上に資する「産業政策」と、豊かで美しい農村を持続的に維持・発展させるための「地域政策」を車の両輪として推進
- ・基本目標の実現に向け、必要な施策をメリハリをつけて、推進

○計画のポイント

【ポイント1】

◇農業所得の向上（めざす農業所得）

発展タイプとして750万円を設定

- ・「とやま型農業経営モデル」事業の成果を踏まえた所得目標
- ・農業を魅力ある産業として担い手の確保を図る上で、他産業の給与額平均の上位水準を目指す
- ・標準タイプ500万円の1.5倍

「農業経営基盤の強化の促進に関する基本方針」で設定



「とやま農業未来カレッジ」での作物実習

【ポイント2】

◇「競争力の高い農業」の実現（生産性・収益性の向上による農業所得の確保）

①競争力のある農産物の生産

- ・富山米新品種「富富富」の高品質・良食味栽培
- ・「1億円産地づくり」等による大規模園芸産地の形成

②競争力を高める技術の開発・普及

- ・省力、高品質化を図る「とやま型水田スマート農業」の推進

③意欲ある担い手の育成と経営強化

- ・メガファームや複合化等の「とやま型農業経営モデル」の実践

④優良な農業生産基盤の確保

- ・農地の大区画化や汎用化、水利施設のパイプライン化やICT化

⑤食のとやまブランド戦略の強化による販路の開拓・拡大

- ・富山米新品種「富富富」のブランド化の推進
- ・農林水産物等の輸出の促進



たまねぎの収穫



ドローンによる防除

【ポイント3】

◇「豊かで美しい農村」の実現

①豊かで魅力ある農村の形成

- ・地域資源を活かした6次産業化、農村女性の起業、農家民泊の推進

②中山間地域の活性化

- ・集落機能の維持・活性化、総合的な鳥獣被害防止対策の推進



地域ぐるみの協同活動